

平成24年4月3日
JR北海道釧路支社

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、平成24年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため4月6日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」ことなどをPRして参ります。

また、これからの時期は、子供達の外遊びの機会が多くなることから、線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園、地域の方々と協力して行います。

記

1 実施期間

平成24年4月6日（金）から4月15日（日）までの10日間

2 実施内容

- ・ 踏切、駅頭でのリーフレット、ポケットティッシュの配布による協力要請
- ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による協力要請
- ・ 主要駅・列車内での業務用放送による協力要請
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問し啓発活動の協力要請
- ・ テレビ・ラジオ放送及び札幌駅西口コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

3 実施計画

釧路支社管内における踏切事故防止PR活動は（別紙）のとおりです。

<平成23年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は13件で、平成22年度より9件増加しました。13件の踏切事故のうち4月4日根室線（札内駅～帯広駅間）幕別町東5号踏切及び1月29日室蘭線（錦岡駅～社台駅間）覚生通り踏切で発生した乗用車と列車の衝突事故では乗用車の運転手の方が命を落とされており、このほかにも悲惨な事故に繋がりがねない無理な通行による事故が多数発生しております。また、警報機が鳴っている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ポールの折損は、2月末現在で448件発生しています。